



平成25年6月27日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
(コード番号 6112)
問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
(TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年1月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	800	5	15	10	1.00
今回修正予想(B)	862	△84	△64	△65	—
増減額(B-A)	62	△89	△79	△75	
増減率(%)	7.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年11月期第2四半期)	818	△10	2	1	0.15

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては工事進行基準を適用いたしておりますが、当113期第2四半期累計期間における売上高につきましては、受注残の消化が順調に推移し、前回発表予想数値8億円及び前年同期8億18百万円を若干上回る8億62百万円を達成する見込みであります。

利益面につきましては、人件費等諸経費全般に亘り削減に努めてまいりましたが、新製品に関する開発コストが予想以上に発生したことや、急激な円安による海外外注費の負担が増加したこと等により、発表予想数値(10百万円)には及ばず、表記の四半期純損失(65百万円)に減額修正するものであります。

なお、受注状況につきましては、第2四半期累計期間の受注高は、受注競争厳しく不本意ながら前年同期(11億82百万円)には及ばず4億20百万円の受注に止まりましたが、受注残高につきましては、前年同期末(10億91百万円)を上回る15億59百万円を確保いたしており、下期の生産・消化に期待をにかけているところであります。また、現在、国内外を中心に累計10億円台の引き合いが浮上しており、この成約に向けて努力しているところであります。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上